

教育委員会会議録（９月定例会）

日 時

令和８年９月２４日（木）
午後１時３０分から午後１時５３分まで

場 所

日立市役所 ３０４・３０５号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	小野 智久
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	額賀 隆

委員以外の出席者

教育部長	作山 直弘
次長	大内 弓子
理事	窪田 康德
総務課長	西 勇人
学校施設課長	富岡 道雄
学務課長	正木 啓道
学校再編課長	酒地 康彦
生涯学習課長	澤井 博
スポーツ振興課長	市原 慎也
スポーツ振興課課長	下田 恭子
指導課長	青木 房子
記念図書館長	野口 要一
郷土博物館長	園原 淳
北部学校給食共同調理場長	小林 健児
教育研究所長	久保田将彦
子ども施設課長	川崎 聖子
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課主幹	丸山奈々子
総務課主事	上遠野 宰

議 事

報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

その他

- (1) 令和 8 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 令和 9 年度日立市立認定こども園（1 号認定）の園児募集について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 9 月定例会を開会します。

本日は、傍聴希望者が 1 名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

2 報 告

報 告 第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 9 号について、御意見等はございませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 そ の 他

(1) 令和 8 年第 3 回市議会定例会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、御質問や御意見はございますか。

委 員 赤津議員から R T I モデルについて質問がありましたが、具体的に
にどういう質問だったかを教えていただきたいです。

教育研究所長 学習障害を含む学習上の困難を抱える児童生徒の把握の仕方と
それに対する適切な支援の方法について御質問をいただきました。

教 育 長 R T I モデルについて詳しく説明をお願いいたします。

教育研究所長 R T I モデルとは、子どもの学習上の困難を早期に把握し、実
際に支援を行い、その支援に対する子どもの反応を見ながら、支援
の方法や程度を調整していく教育的な枠組みとなっております。

まず、全体的にユニバーサルデザインの考え方を踏まえて指導
し、誰にでも分かりやすい授業を行います。

次に、それについていけない子どもたちに対しては、小集団に別
れて支援をしていくということになります。

例えば、休み時間や放課後を活用した学習サポート、配慮が必要

な一部の児童生徒に対する支援などを行う形となっております。

さらに、どうしても学習が追いつかない子どもに対しては、より個別的な支援ということで、通級指導教室での個別指導や、通級指導教室がない場合には、特別支援学級での個別学習指導を行うなど、子どもに対して適切な支援をしていく、その結果どんな反応があるかを見ながら、支援の方法を変えていくのがR T I モデルとなっております。

つくば市では、このような取組について筑波大学と連携した先行研究をしておりますので、今後、参考にしたいと考えております。

委 員 職員の確保が必要かと思いますが、その点はどう考えていますか。

教育研究所長 教育課程の学習内容とは別に教えなければならないため、教員の人数の確保が課題となります。

通級指導教室や特別支援学級の先生などによるサポートが必要であると考えております。

委 員 今回の一般質問で学習障害についての質問があったのは、意義があると思っております。

不登校の子どもたちの中には、発達障害の子どもの割合が多いそうなので、市でやっている取組を利用している子どもの中に、そのような子どもがいないかどうかを把握し、具体的な支援も考えていただきたいです。

教育研究所長 不登校の要因や背景は、複雑化、多様化していて、学習障害で学習に取り組めないことから不登校になっているという例も聞いております。

そのような子どもたちに対しても、国や他の都市の動向・事例を参考にしながら、本市にも取り入れていきたいと考えております。

また、夏季研修会の中で、学習障害についての理解を深めるとともにその支援方法についても教職員研修を行っておりますので、今後も継続していきたいと考えております。

委 員 石川議員の質問についてです。

公設児童クラブの質の高い運営のための職員の雇用体制や支援を要する児童への対応に必要な人員体制について、受託事業者や教育委員会がきめ細かく対応されていると感じました。

実際に、支援員の方の人数がどのくらい充足されているのか伺いたいです。

また、教室にはたくさんの子どものいるので、スペースは確保されているのか、今後の増設予定についてもお聞きしたいです。

生涯学習課長 現在の支援員の人数につきましては、委託契約上の配置基準は満たしております。

しかし、運営上、人数に余裕があるクラブばかりではありませんので、児童の人数が多いことなどから、常に職員を募集しているクラブもございます。

児童数が多く、教室に余裕がないクラブに関しましては、来年度申込みや余裕教室の状況を把握した上で、必要な部屋の数、運営体制を検討していきたいと考えております。

教室が狭いのではないかという御指摘でしたが、そちらにつきましても国が示している基準は満たされております。

また、運営体制を検討するに当たり、各児童クラブの状況を考慮した上で、追加の委託契約を行い、部屋を増設するなどの対応を考えていきたいと考えております。

委 員 石川議員の質問に関連して要望です。

公設児童クラブの利用要件の緩和についてですが、できる限り広く行っていただきたいと思います。

市外在住の方でも、日立市内で働いている方には、子育て支援という意味でサポートが必要なのではないかと思います。

生涯学習課長 年齢要件の緩和につきましては、75歳以上の方は養育困難な要件を求めないこととしておりますが、75歳未満の方でも、介護、就労、その他の養育困難な状況である場合は、児童の預かりを認めているところでございます。

また、祖父母一人一人の身体状況や家庭の状況によって、養育が難しい事情がある場合には、年齢要件にかかわらず、就労や疾病等の要件で児童の預かりを承認することなどで柔軟に対応しております。

児童の受け入れや施設の状況を考慮し、保護者の就労支援につながるよう、適正な要件設定を検討していきたいと考えております。

また、市外在住の日立市内で働く方への支援につきましては、所属の小学校以外の公設児童クラブでの受け入れについては、これまで中里地区在住の方について、地区に公設児童クラブがないことから、勤務地近くのクラブで受け入れを行った事例はございます。

市外在住の方については、送迎時間の都合などの理由から日立市内の民間児童クラブで受け入れている事例は数件ございました。

公設児童クラブにつきましては、対象児童を日立市立小学校に就学している児童としておりますので、児童が市外の小学校に就学する場合の利用はできないこととなっております。

しかしながら、ニーズがあれば検討していきたいと考えております。

委員 部活、体育館の空調、プール、風流物など、児童生徒並びに地域住民の減少数を、各地域で把握しながら、計画していく必要があると感じました。

学校ごとにそういった統計がとられているかどうかを教えていただければと思います。

また、その世帯数などの統計を考慮して計画されているかを伺いたいです。

総務課長 まず、学校ごとの児童数、生徒数につきましては、小学校であれば卒業する6年生の人数、それぞれ学年が上がる人数、住民基本台帳を使用して入学してくる年長児の人数を把握して、各学校の数年前までの児童数を推計することができます。

これは中学校も同様です。

そして、こうした数値を生かしておりますのが、学校再編計画でございまして、将来の児童数、生徒数を見込んで、再編後の学校の配置について検討を行っております。

一方、他の施策や事業につきましては、直近に推計された児童生徒数の見込みや実績、市全体の人口推計などを踏まえて対応を図っております。

このように、将来の児童生徒数の見通しにつきましては、一定程度の正確性があるものを得ることができますが、地域住民の人口の見通しというのは難しい部分があるかと思います。

今後、私どもが向き合うテーマやケースなどに応じてエビデンスの1つとして活用を図ってまいりたいと考えております。

(2) 令和9年度日立市立認定こども園（1号認定）の園児募集について

教 育 長 次に、その他(2)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長 1番の表は、9月1日現在の市立幼稚園及び認定子ども園（1号認定）年齢別在園児数及び来年度の募集人数をお示したものでございます。

表の下の※印に記載のとおり、少子化の影響を受けまして、令和9年度は、幼稚園の新規募集は行わず、大沼幼稚園は令和8年度末に、楡形幼稚園は令和9年度末に閉園となる方針が決定しております。

令和9年度の募集は、みやた認定こども園とはなやま認定こども園の2つの認定こども園のみの募集となります。

募集人員でございますが、みやた認定こども園、はなやま認定こども園ともに4歳児が15人、5歳児が若干名の募集となります。

2番、入園資格につきましては、記載のとおりとなっております。

3番、募集方法ですが、10月1日から募集を行う市立認定子ども園の各園で入学願書を配布し、11月4日と5日の2日間で入園を希望する園に願書を御提出いただき、受け付けることとしております。

4番、月額保育料につきましては、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化制度により無料となっております。

(3) その他

教 育 長 そのほか、案件はありますか。

郷土博物館長 特別展示、神さま、仏さま、土偶さま、日立の信仰と祈りの開催について御案内を申し上げます。

まず、趣旨についてです。

私たちが日々を送る暮らしの中には、家族の安全や健康、豊かな生活を願う数多くの祈りが息づいております。

その根底には、時代や形を変えながら、大切に受け継がれてきた信仰の姿がございます。

本展示では、郷土博物館が収蔵する貴重な歴史資料を中心に約250点を展示し、原始・古代から現代に至る日立の信仰と祈りという底流に光を当てることで、地域の歴史をより深く立体的に見つめ直す試みとして企画をいたしました。

会期は、9月26日から11月8日まで、会場は、日立市郷土博物館の2階、特別展示室で行います。

観覧料は、無料となっております。

次に、主な展示内容でございます。

展示は、8つのテーマで構成されております。

縄文時代の土偶に代表される原始・古代の遺跡・遺物に見る祈りをはじめ、建物の歴史を物語る棟札、暮らしに身近な神棚や仏壇、さらには、沿岸地域ならではの豊漁と航海安全の祈りなど、多彩な角度から人々の切なる思いを御紹介いたします。

特にタイトルにございますように、土偶の展示を30点ほど予定しております。

また、今年5月に開催されました、7年に1度の神峰神社大祭礼に関する写真展示を盛り込んでおり、日立市の信仰文化の熱気を感じていただける内容となっております。

ポスターに使用した絵馬は、大正8年、1919年に横浜からアワビ漁のためにメキシコへ船で渡った会瀬町の人たちが太平洋上で暴風にあった際、爪書不動明王に嵐が静まるのを祈願したところ、無事に帰還した逸話をモチーフにしたものでございます。

このときの14人の渡航者から感謝を込めまして、相賀町にありました爪書不動尊に、昭和28年、1953年に奉納されたもので

ございます。

関連催事としまして、会期中の１０月１２日、１０月２５日の午後２時から、担当学芸員によるギャラリートーク展示解説を実施いたします。

市民の皆様が地域の歩みを再発見できる貴重な機会となりますので、是非、御覧いただければと思います。

４ 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和８年１０月２２日（木）午後１時３０分から、日立市役所３階３０４・３０５号会議室で開催予定です。

５ 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会９月定例会を終了いたします。

以 上